

令和6年度 こども園評価書

1 施設の概要

施設名	東かがわ市立大内こども園	園長	小西 ゆかり
住所	〒769-2605 東かがわ市中筋367番地1	TEL	0879-25-3777
HP		E-mail	mlw4101@city.higashikagawa.lg.jp

園児数 学級数 (R6.5.1)	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	6名	13名	20名	21名	26名	34名	120名
	1学級	1学級	2学級	2学級	2学級	2学級	10学級

職員 (R6.5.1)	園長	副園長	保育教諭	保育教諭 補助員	庁務員
	1名	1名	32名	6名	1名

園教育 ・保育 目 標	心豊かで、心身ともにたくましく生きる子どもの育成
経営の重点	1 基本的生活習慣の定着を図り、健康な心と体の育成、生きる力の基礎を育むことを重視した編成を行う。 2 社会変化や保護者のニーズに対応し、心身の発達、家庭、地域の実情に即した編成を行う。 3 一人一人の特性に応じたねらいや内容を設定し、それらを総合的に達成できるように0歳児から5歳児までの長期的な視野をもって編成する。 4 職員研修の充実を図り、職員の自己肯定感を高めながら資質向上に努める。
指導の重点	1 家庭や地域の実情を把握し、健康で安全な生活をつくり出す力を育成する。 2 家庭や地域との連携を深め、様々な体験活動を取り入れて豊かな心や体力づくり・挨拶など基本的生活習慣の確立を目指す。 3 個人差に配慮しながら、0歳児から5歳児までの長期的な発達を見据えた目標を持ち、遊びこめる子どもを育てる。 4 職員研修の充実やコミュニケーションをいかし、職員同士のつながりを深め、保育力を磨く。

2 園教育評価

	評価項目	自己評価	園関係者評価
確かな学びの定着	◎基礎的・基本的な学力定着、伸長のための適切な指導が計画的に行われているか。		
	子どもの年齢や発達に応じた教育・保育計画であるか。	A	A
	子どもの興味・関心・意欲を大切に、子どもの育ちを支援する環境の工夫ができているか。	B	
	子ども一人一人の理解に努め、各自の思いや考えを大切にしたりした関わりをしているか。	A	
	自然・人・物など様々なことに触れ、豊かな体験の場を広げるよう努めているか。	A	
心豊かな温かい人づくり	◎豊かな心を育み、正しい規範意識と生活習慣を身に付けた子どもの育成が図られているか。		
	様々な遊びや生活の中で、人や動植物と関わりながら豊かな心を育むことができているか。	B	B
	基本的生活習慣の確立に向けた取組の工夫ができているか。	A	
	子ども一人一人の気持ちや思いを受け止め、寄り添う関わりができているか。	B	
	よりよい人間関係を築くために、善悪の判断や思いやりの言葉等の規範意識を養えるような関わりができているか。	A	
たくましく生きる力の育成	◎様々な体験を通して、心身ともに健康でたくましく生きる力を培うことができているか。		
	食物への興味・関心や、食べる楽しさを感じられる食育の推進が図られているか。	A	A
	体を動かす心地よさや、達成感が味わえるような環境を整え、自ら体を動かそうとする意欲が育つよう取り組んでいるか。	A	
	生活や交通安全についての意識を高める取組を進んで行うことができているか。	B	
	個々の家庭と連携し、子どもの実態や年間計画に沿って基本的生活習慣の定着を図っているか。	A	
教職員組織と研修	◎教育・保育課題を達成するため教職員組織や指導力を向上させるための研修内容になっているか。		
	自分の保育を振り返り、子どもの人権を尊重する関わりに努めているか。	A	B
	一人一人の子どもを全職員で把握し、個々に応じた支援に取り組んでいるか。	B	
	園内研修の内容や進め方が、子どもへの関わり方や環境構成の学びとなり、保育実践に生かすことができているか。	B	
	園内外の研修に意欲的に取り組み、自己研鑽に努めているか。	A	
教職員の働き方改革	◎教職員のワーク・ライフ・バランスを考慮した業務の適正化等が図られているか。		
	園務分掌において、経験年数や担任学級等を考慮し、組織や職員体制を整備して、できるだけ均等化されるように努めているか。	B	A
	園内行事や活動を見直したり、事務処理の時間を確保したりして職務の効率化に努めているか。	A	
	職員同士が協働意識の下、連携・協力してそれぞれの職員の業務改善に努めているか。	A	

	園内研修等は、時間を決めたり考えをまとめて参加したりして効率よく行えるよう努めているか。	A	
保護者・地域との連携	◎園教育の充実のために保護者や地域との連携協力が図られているか。		
	園便り、クラス便り、写真掲示等を通して園からの情報を分かりやすく公開しているか。	A	A
	職員は、保護者の子育ての悩みや相談に応じたり、共に成長を喜び合ったりして適切な対応に努めているか。	A	
	保護者や地域、関係機関等と連携し、教育保育活動の充実に努めているか。	B	
	支援センター活動は、地域の子育て支援につながる計画・実践となっているか。	A	
施設・設備	◎園児が安全に楽しい学校生活を送れる施設・設備になっているか。		
	園内環境の安全点検を定期的実施し、必要に応じて迅速に対応できているか。	A	A
	避難訓練の実施だけでなく、常に危機意識をもち、不審者・災害等に適切に対応できるように努めているか。	A	
	清掃や緑化に努め、衛生的で機能的な環境の保持に努めることができているか。	A	

評価〔A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや改善の必要がある D：改善の必要がある〕

3 成果と課題 〔○成果 ●課題〕

- 家庭と連携して取り組めるよう、保護者の絵本の読み聞かせを取り入れたり、生活調べやチャレンジカードの内容を工夫したりしたことで、絵本の読み聞かせの推進や生活習慣の改善、体力向上につながってきている。
- 保護者からの悩みや相談に真摯に向き合い、個々に合わせた対応をすることで、保護者との信頼関係が深まってきている。
- 園内研修の持ち方や職員同士の協働意識の下、連携・協力して業務改善に努めようとする姿が多く見られるようになってきている。
- 基本的な生活習慣について、家庭の意識が高まってきているこの機会を大切にしながら工夫した取組を継続し、定着につなげていくことが必要である。
- 園行事を通して、子どもと地域、また保護者同士がつながりを感じられるような内容の工夫が必要である。
- 園内研修は、参加回数や研修方法を再度検討し、保育に即生かせる内容を取り入れていきたい。

4 来年度の経営の重点

- 基本的な生活習慣の定着を図りながら、健やかな心と体の育成に努める。
- 様々な体験活動を通して、豊かな心や感性を育てる。
- 職員の資質向上及び働き方改革を目指す。

5 来年度の指導の重点

- 家庭と連携しながら基本的な生活習慣の定着を図り、意欲や自信をもって活動できる子どもの育成に取り組む。
- 地域や保護者と連携し、様々な人との関わりや活動を通して豊かな心が育めるようにする。
- 職員研修の充実とともに、ICTを活用し、仕事の効率化や軽減の強化に努める。